

がっこうぐらしRTA  
町の掃除屋さん√

秋涼

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

何番煎じか分からないがっこうぐらしRTA風小説です。

『かれら』とエンジョイしながら倒したりや他のNPCの機嫌をとりながら最速を目指します。

このような素晴らしい設定を考えたアサルトゲーマーさんの作品はこちらです。

<https://syosetu.org/novel/204792/>

# 目次

RTAスタート	1
小学校へ行くこう！	9
高校へ	15
お買い物（買うとは言っていない）	22
イベント：真夜中の学校にて	30
駅へ	33
私ができることを	41



# RTAスタート

さあRTAをさっそく始めていきましよう。

がっこうぐらしのRTAは色々な方がやっていますが、当初は多くの初心者の方等や『かれら』の効率のいい倒し方を模索する過程で気付くと達成してしまう、虐殺者エンドをRTAしようかと思いました。ただ、イベントもあまり多くなく無心でゾンビを屠殺するだけではつまらないので、その派生である町の掃除屋さん√をやっていきたいと思います。

町の掃除屋さんエンドは「かれら」を一万人撃破、主人公の正気度を0%以上、大学を除く、主要人物の全員生存かつ敵対状態ではないで達成できます。

プレイヤーは平気ですが、主人公は一応ゲームの中の登場人物ですからね、元は人間の『かれら』を倒していると正気度が減っていつてしまうのでそれをどう維持しつつ効率良く『かれら』を倒し、なおかついかに人間関係を円滑に保つかが肝になってきます。

とりあえずキャラクターイトは速度重視でランダムで行きたいと思えます！

おおこれは「お兄さん」ですね。よく引き締まったいいカラダしてんねえ！

このお兄さんは名前はなく、なぜかお兄さんとだけ表示されます。

本名はあるみたいですが、ゲーム中で分かることがないのでいまだ分かりません。

町の掃除屋チャートを作っている時でもこのキャラクターは出たことがないので今から少しわくわくしてきますねえ。

出現率は某ヤキウサクセスゲームでいうとセンス○オールCがでるぐらいの確率ででるレアキャラです。

これは幸先がいいですね。

お兄さんは高校生ではなく、大学生ですがイシドロの学生でもありません、いつたいどこの大学通ってるんですかね？ちなみに大学でサバイバル部に所属しており、仲のいい友達に留学生のウエスト君、ケネデイ君がいるみたいです。

どつかで聞いたことある名前ですが、いまは重要じゃないので置いときます。ちなみにウエスト君とケネデイ君もレアキャラででるみたいです。私は見たことないです。それではスタートしていききたいと思います。

オープニングを見ながら今回の主人公となるお兄さんの説明をしていききたいと思います。

お兄さんの初期技能は「パルクール」「サバイバル」です。

「パルクール」は通常だと時間のかかる2階から侵入するルートなどにおいて、普段障害

物で移動できない壁を足場さえあれば軽々と登って移動できる技能です。普通のゲーム内で取得するにはレアアイテムである教本を取得しなくてはいけない技能を最初から持っているのは素晴らしいです。

続いて「サバイバル」ですが、登山用ピッケル等レジャー関連武器に補正がかかるのとロツカーや引き出しでいいものを発見できる確率があがるというものです。

ステータスを振る前から初期ステータスが高いと色々メリットがある彼ですが、欠点があります。

見てください、このお兄さんの顔を！イケメンですが狐目といいかなり胡散臭い見た目をしてます。

喋っても軽薄な感じとみなされて初期印象がかなり悪くなり、好感度もあがりづらいです。

好感度があがらないとイベントが発生しないし、正気度がごりごり削れてそのままつて感じの終わり方が多いのでそこに注意して進めていかないといけないといけません。

校外スタートの特典として高校の主要人物のゆき、リーさん、くるみ、めぐねえ、みき、圭、チョーカーさんの中からなにかしらの関係性が与えられるのでそこを起点にして上手いこと進めていきたいですね。

それとごらんのとおり校外スタートの場合だと導入オープニングがスキップできま

せん、これはロスですが、お兄さんの初期技能で十分取り返せるロスなのでそのまま続行します。

おつと若狭の奥さんからるーちゃんを迎えに行つてほしいとの電話がありました。

これは若狭家との家族ぐるみの付き合いか、りーさんの幼馴染だと発生するイベントです。

つまり今回はりーさん関係で高校組にアプローチをかけることになります。

やつと動けるようになりました。

自分の部屋の中を漁り、準備をします。

さすがサバイバルスキルですね。水、携帯食料と登山用ピッケル、登山用リュック、ロープが見つかりました。

全て持つて行つて外に出しましょう。

さて、家から出て高校組にアプローチできる好感度引き換え券ことるーちゃんを迎えに行きましょう

家を出ながらるーちゃんに電話をします。ここで電話に出るか出ないかは半々ですが電話に出るとるーちゃんの出現位置を確定させることができ、大分時間の猶予ができます。



お、出ましたね！彼女に体育倉庫の跳び箱の中にも隠れてもらいましょう。

これで大分時間の余裕ができるはずなので寄り道をしていきます。

電話に出なかつたらそのままダッシュで学校ですが、出たからね、るーちゃんにはすこし我慢してもらいましょう。ほかにやることがあるからしようがないね。

スタミナがなくならない程度に調整しつつ、走っていくと、駅近くを通り、かれらに襲われている人と逃げていく人、状況が飲み込めてない人がいてカオスになってます。（パーティ会場かな？）

とりあえず人を襲っている『かれら』にピッケルで首を刺して引き摺り倒して頭を蹴ると見事にきれいに飛んでいきます。気持ちいいですね！

頭を飛ばしておけば戻って来た時に死亡確認やら不意に足を掴まれたりすることがないので安心です。

スキルの首飛ばしはまだ取得できませんが、ピッケルで的確に頸椎を刺せば砕けて首を蹴るだけで飛ばせる上に、頭は弾扱いなのでステータスがあげれば、頭を飛ばして『かれら』を倒すことも出来ますよ！

周りから悲鳴やら殺人よ！とか声が聞こえますが無視してある程度狩って経験値にしましょう。『かれら』も他の人を狙ったりするので自分だけに集中して集まってこないで割かし安全に倒せますのでここでレベルを少し上げてステータスをあげておき

ます。この現場を目撃した人は逃げるのでここに戻ってくる時も素通りした時より『かれら』の数が減ってるので便利です。

ここで持久力をさらに増加とワークスキルをとつとつとのちのち便利なので取得します。

小学校へいかずに道をそれて進むと『かれら』がいるので民家の塀にのつて移動しましょう

パルクール技能のおかげで塀の上でも普通に走ると変わらないはやさで走れるので『かれら』を無視していきます。

しばらく走っていると『かれら』に囲まれているお姉さんがいるので助けます。

この子はラジオのお姉さんなので助けて恩を売っておくとラジオシエルターが避難所兼拠点としてもつかえるのでセーフハウスとしても便利です。ここで助けておかないと好感度の関係でなかなか解放が難しいですし、なにより小学校が近いので小学校の『かれら』を全滅させるときの資材を保管しておくところに便利なのです。

小学校が近いので小学校の『かれら』を全滅させるときの資材を保管しておくところに便利です。

ここで助けておくとお姉さんの感染の可能性を0にもできるので是非推奨しておきたいところです。

まず後ろから一人の首をさつきと同じように飛ばしてお姉さんに近づくとぶつけて転ばせます。囲んでいるのは5人ですが2人転ばせたので運がいいですね。

これで道を開けたのですこし『かれら』から離れるようにいいますが、硬直して動きませんね。なんででしょうか。

しょうがないので手早く立つてる『かれら』の頸椎を折って、転んだかれらを倒して四角いコンクリートの上へ逃げるように指示しましょう。

とりあえず一緒に登ってコミユニケーションをとり、水と携帯食料もお姉さんへ渡して自分も少し満腹度と正気度を回復させてお姉さんに小学校へ妹を迎えに行くと伝え小学校へ行きましょう。

これでラジオシエルターは使えるようになったはずなので、急いで小学校へるーちゃんを迎えに行きましょう！

「いい子だから、体育倉庫の跳び箱の中に隠れて、しつかり扉も閉めて私がいくまで静か

にしてるんですよ」

普通にしてるだけでも軽薄そうな印象を受けるお兄ちゃんが珍しく真剣に話したので理由は良くわからないけど言うとおりにした過去の自分をほめたい。

外から聞こえてくる悲鳴や叫び声を聞こえないように耳を塞いで耐える。

いつたいいつまで待てばいいのか、外にいつて探しに行けばいいかと思うけど外から聞こえてくる悲鳴がわたしの勇気をなくさせる。

はやく来て、お兄ちゃん

## 小学校へ行こう！

さあ、引き続いて小学校へ突撃します！

太陽がだいぶ傾いてきましたがまだまだ時間があるので張り切っていきましよう！

小学校へ移動中に説明しましょう！『かれら』は基本無限湧きですが、街での湧き率は高くありません。ですので殲滅していくと数が減って探し回る必要が出てきて時間がかかるので効率が良くありません。

そこで活用するのが、イベントです！

介入しなければめぐねえが感染する有名な雨の日イベントなどの時はたとえその場所にいる『かれら』を殲滅していたとしてもどこに隠れてたんだというほど湧いてきます。普通にプレイをしていると非常に厄介なこの仕様も今回のRTAだと非常に助かるうえにレベルも上がる美味しいイベントに早変わりです。

今向かっている小学校もその1つなのです！しかも小学校なのでかれらも小学生で耐久力も低く小さいので低学年ぐらいの『かれら』なら、駅前とお姉さん救出で上げたレベルで鍛えたステータスで武器を使わずに蹴りだけで倒すことができます。さらに誰かを助ける大義名分があるため、正気度が下がりにくくなるなどいいこと尽くめです！

使命感など救出目的である程度正気度が下がりにくくなるのは男性キャラクターの良いところですね！（一部のキャラ除く）

『かれら』を倒すのに夢中になりすぎて、るーちゃんを回収するのを忘れないようにしましょう！このように町の掃除屋さんのエンドはイベントを利用しつつ

無限に湧くかれらを効率よく狩っていくついでに人も助けちゃおうという一石二鳥のルートです！

そんなこと言っているうちに小学校につきました。

早速小さい『かれら』を起点に蹴り飛ばして、ほかの『かれら』にあててボウリングのように飛ばしていきましよう。ある程度巻き込んで倒せますがまだまだストライクを取るのには難しそうですね。倒れているやつを踏み潰したりして、『かれら』をピツケルと頭飛ばしと併用して対処しつつ駐車場へ行きます。着いたら車の窓ガラスを割って防犯センサーを鳴らします。今回は一回目でアラームが鳴りましたが、鳴らない場合は高そうな車を狙いましよう！

これで小学校にいるかれらはどこかに引つかからない限りこの音におびき寄せられません。

車のアラームが『かれら』を引き寄せているうちに用務員室の近くにある灯油の保管場所の扉を壊し灯油入手、用務員室でライターを入手して適当に倒したかれらから手に

入れた服の切れ端使つて工作スキルで簡易火炎瓶（ポリタンク）をつくります。簡易と言つてもポリタンクに硬いものにぶつかつたら壊れるように加工を入れてあるので容量も抜群の発火ポリタンクです。作製中に襲われないように用務員室の扉を閉めると部屋のクリアリングを忘れずに！作製できたら駐車場の車に集まっているかれらに放り投げます！かなり燃えて綺麗ですねぇ！

『かれら』はよく燃えるので音で集まつてきた『かれら』に燃え移り暫くはオートでスコアが稼げます。小学校から出る頃には日が落ちて暗くなつてくるので明かりも必要ですしね！

さて、そろそろ我らのーちゃんを迎えに行きましょう！

彼女は体育館の体育倉庫にいるのでそこへ向かいます。

体育館の扉が開いてるので中に引つかかつてるやつ以外駐車場に行つたみたいですね。うまくたどり着いてスコアになつてくれているとありがたいですね。

体育館に残っているかれらを始末して体育倉庫を開けましょう。

跳び箱を開けると半泣きでガダガタ震えているるーちゃんを発見しました！

飛びついてくるのであやししながら極力泣き声が響かないように泣かせてあやします。

無事で良かったですねぇ！（屑）

あやしめる時間がロスだと思ふかもしれませんが、ケアしないで発狂されたり、嫌わ

れたりしたら再走案件なので大切に扱っています。

我らのるーちゃんですが能力は小学生なので低いです。豆腐メンタルな姉と違い大分メンタルが強いです。それとるーちゃんの好感度があがって発生するイベントは正気度がぐんつと回復するイベントが多いので、お姫様を大切にしましょう!

迎えに行くのが大分遅れたので少し疲れています。平気そうですね!落ち着いたら登山用リュックをるーちゃんに背負ってもらい、おんぶして登山用ロープでるーちゃんをお兄さんに固定します。

すこし機動力は下がりますがるーちゃんを誘導しながら移動するよりいいですし、カバンとお兄さんに挟まれて何してるかも見えませんからね!

お子様には刺激が強い映像なので配慮です!

それとゲームの仕様で要保護者牽引中などはかれらがなぜか大人しくなるいわゆるゾンデレが発動するのでさらに稼ぎやすくなります。

小学校から外に出るついでに進行方向のかれらをお掃除していきます。

車のアラームにおびき寄せられてかなりの数が来ますがパルクールスキルを使い扉の上を移動することでスルーできます。

るーちゃんをラジオシエルトまで護送して任務完了です。

ラジオシエルトの上から小学校の駐車場のほうの赤い灯りを見ながら休憩しま



しよう！お、どっかの車に引火したみたいで爆発音がしました。これはいい爆発です  
ね！80点！

最初の印象は精神が逝っちゃってる奴

助けてくれたのは感謝してるけど、ゾンビみたいになったとはいえ、人間の首を蹴り  
飛ばしても顔色一つ変えないでいやあ危なかったですね！って笑顔でいつてくるやつ  
は普通に怖い。

ちようどいい避難場所を見つけたし、多分彼もここに留まるだろうということと彼と  
どう向き合おうかと悩んでいたら、近くの小学校に妹を迎えにいくといつて出て行っ  
た。

私も逃げる時に少しだけ見たが、あそこは外から見てもう地獄のようなありさまだつ  
た。彼の妹があそこにいるならば、あまり期待できないかもしれない。

ふと、妹を迎えに行くのに急いでいるはずなのに私を助けてくれたことに気づき、実  
はいい奴なのではと考えて、無事に帰ってきたらすこし話でもしてみようと思った。

食料や物資の確認をしていると彼が女の子を連れて戻ってきた。

彼は良かった良かったといいながら、私にベッドを使つていいか聞いて、私が許可を出すとそのままベッドに寝かせた。彼に聞くと彼女は安心して眠ってしまったらしい。一見噛まれた痕や怪我はないが、服の下とかに咬み傷などがないか確認しないと。

私の視線に気づいた彼は彼女は噛まれてないといい、心配なら自分が部屋の外に出たら調べてもいいといつて出て行った。

念のため調べてみると同時に女の子を見る、非常に整った顔をしているが彼とは全く似てない。

彼の様子は妹の無事を喜ぶ本当の兄のようだった。

もしかしたら彼は自分の妹が死んだことに耐えきれず、この少女が本当の妹のように見えてるのかもしれない。

だけど精神的に勘違いしていたとしても女の子を一人助けたのは凄いことだ。

彼と話すときは女の子は彼の妹だという前提で話をしようとおもった。

こんな世の中になってしまったんだ。少しだけ救いがあつてもいいじゃないか。

## 高校へ

さあ続けていきましよう！

駅前でラジオのお姉さん、小学校でるーちゃんを助け、駐車場でキャンプファイヤーと濃い一日でお兄さんも大分疲れています。まだ今日はやる必要があります。

るーちゃん救出ボーナス、キャンプファイヤーで入り続けている経験値でレベルアップしたボーナスポイントで

ステータスを振り、技能をとります。『夜目』と工作のレベルを上げます。

『夜目』は名前の通り暗闇でも見えるようになるというもの、ライトよりは明るくないですが暗闇で携帯電話を開いたぐらいい見えるようになるので事故が減ります。ライトをつけて行動すると無駄に『かれら』を引き寄せることになるので静かに行動するのは必須です。

ラジオシエルターにて携帯食料と工作スキルで登山用ピッケの整備とバッグに水と携帯食料をもって出かけます。

出る際にラジオのお姉さんるーちゃんをお願いして出かけます。

道中はできる限り塀を伝ってぴよんぴよんしていきましよう。ある程度の段差や障

害物などお兄さんには関係ないので最短距離で高校へ向かいましょう。

移動中暇なのでなぜ今日高校へ行くのか説明しますと。

初日は高校組は屋上で一夜を過ごしています。2日目になるとランダムでもう一日屋上で過ごすか、下の3階の掃除を始めるのですが、ゴリラこと胡桃ちゃんがゾンビを狩りつくしてしまいます。普段のプレイでは頼もしいですが、今回のプレイでは敵です。よって彼女を自衛に集中させるためにお兄さんが先に行ってお掃除しにいつてあげるのです。

あと、夜は『かれら』は家に帰るので、校舎にいるのは物や扉にひっかかっているやつだけなので掃除は結構楽です。いやあ、かわりに安全確保なんてお兄さんは優しいですね！

説明してるうちに高校に到着しました。校庭などにいる居残りの悪い生徒をお仕置きしながら、校舎の雨水の排水管を伝って登ります。一階からでもいいですが、戦闘中に階段から落ちてこられても困るのでチョーカーさんの救出を兼ねて攻略していきま

す。

3階を通りすぎて屋上をちよつと覗きます、高校組が身を寄せ合って眠っていて和みました。屋上に登ってしまうとイベントが発生して朝になってしまうので、今回はスルーします。これで屋上に生存者がいるという情報が手に入りましたので3階の

廊下に窓からダイナミックエントリーします。教室ひとつひとつ回って首を飛ばしつつ、倒し終わったら、死体を窓からポイしていきましょう。掃除が完了したら机とモップを組み合わせた簡易ゾンビ返しを作製して階段に設置しましょう。『かれら』返しは階段を上がってきた『かれら』が突起に当たってバランスを崩して階段から落ちるという罠です。簡易ですがある程度はバリケードの機能を果たしてくれるでしょう。

自分が設置した罠等をNPCが補強した場合も自分の作製物扱いなので、高校組が降りてきた後で補強なり、勝手にアツプグレード等をしてくれると罠で『かれら』を倒したという判定になりお兄さんにスコアが入ってくるので美味しいです。

3階の掃除を終えたら次は2階です。チョーカーさんは2階の女子トイレか男子トイレにいますので2階を掃除してから様子を見に行きましょう。

クリアリングしてから扉をあけずに上から覗いてみるといきました。柚村 貴依ことチョーカーさんです。いまは疲れて眠ってるみたいですね。下手に起こして叫ばれると『かれら』が寄ってきますし、変に逃げられてそのまま噛まれることもあるので、メモを食料と水と一緒にそつとトイレの中に入れてそのまま出ましょう。

『かれら』返しは『かれら』にしか効果がないのでチョーカーさんはそのまま避難してくれるでしょう。

屋上を確認していると『屋上に高校組がいる』という情報を書けるので明日の朝には

向かってくれるでしょう。

2階に簡易『かれら』返しを設置してそのまま一階へいきます。校庭の居残りを排除してあるので教室や各自を掃除するだけで大丈夫です。掃除が完了したら職員玄関は扉をしめて施錠した後、技術準備室へいきましよう、

ロープ、木板、釘などを入手します。

技術室になぜかある丸太をつかってクラフトを行います。

丸太は武器としても使えますが、武器として完璧に使えるのは、ランダムキャラでてくる宮本君だけなので素材に使ったほうがいいです。時々このゲームはネタキャラを突っ込んでくるので頑張って出して遊んでみるのも一興ですよ。

木板と木板と釘を合わせて、頑丈さを上げて、丸太と技術室にあるワイヤーを組み合わせて、感圧式ハンマーが作れます。

木の板を倒すとそれに連動して丸太が下に下がり倒した『かれら』を吹き飛ばす罠です。

これを生徒用玄関に設置すると、朝登校してきた『かれら』を丸太くんが歓迎してくれるようになるので、定期的にメンテとアップグレードをすれば大分スコアが稼げるかと間違いなしです！

大分夜が更けてきたので、帰りにコンビニによってラジオのお姉さんへのおみやげ等

をもつて今日は帰宅しましょう。

屋上の扉をノックする音で目を覚める。

昨日のやつらが扉を叩く音が思い出されて、身をすくめ、近くで寝ている丈檜さんを抱きしめる。

「誰かいるの!?!いるなら早く開けて!!」

という叫び声が聞こえ、めぐねえが慌てて扉のほうに駆けていき屋上の扉を開ける、扉から出てきたのはチョーカーが特徴のギャルっぽい女の子だった。

「貴依ちゃん!!」

「由紀!!」

抱きしめていた私から離れ、丈檜さんが彼女に抱きついた。

二人はしばらく泣きながら抱きついてたけど、落ち着いたのかこちらを見て

「あんなことになってから、ずっと2階のトイレに隠れてたんだ、疲れて寝ておきたら、

食料と水と一緒にメモがあつて屋上に人がいるつて書いてあつて向かったら、本当にいて助かったよ。

本当にありがとう、食料もくれたし、あいつらも排除してバリケードみたいなのも設置してくれたんだよね、一日ですごいと思う、私もよければ手伝わせてくれ」

「えっ……昨日はずつと私たち屋上にいたけど……」

「ちよつと見てくる！」

私がそう伝えると、恵飛須沢さんがシャベルを持つて階段を下がつていった。

「メモを残していったのは私たちじゃないわよ」

「そうか……誰か分からないけど感謝しないと」

「少し、そのメモ見せてもらつてもいいかしら？」

メモを受け取つてみると

屋上に生存者がいる。食料と水を飲んで落ち着いたら気を付けて屋上へ向かいなさい。

2階と3階は掃除しときましたが、やり残しがあるかもしれないので気をつけなさい。

と簡単な文字が書いてあつた。

「へえ〜！すごい掃除屋さんが来てたんだね！」



「掃除屋って……そ、そうだな」

メモの文字を見て二人はそう話しているが私はメモの文字から目を離せないでいた。なぜならメモに書いてある文字を書いたであろう人が分かってしまったから。

なぜ屋上に私がいるって分かっているのに会いに来てくれないのか。

もう大丈夫だよと私を抱きしめて、安心させてほしい。

彼が無事でよかったと思う気持ちとなぜ近くまで来たのに私に会ってくれないのという事が悲しくて涙が出てくる。

「どうしたの?」

突然、泣き出した私を心配する声が聞こえるが、私の涙は恵飛須沢さん達が帰ってくるまで止まらなかった。

## お買い物（買うとは言っていない）

帰ってきたらそのままラジオシエルターの入り口の屋上で寝ます。

極力返り血は浴びないように計算して戦っていましたが、ピッケルを持っている手で蹴り飛ばしたりする足はやっぱり汚れてしまいますね。室内を汚すわけにはいけないのでそのままスヤアします。ベッドや寝具は明日揃えに行きましょう。その前に寝て体力や疲労度等を回復させます。

今頃、高校ではきつと謎の人物が校内を掃除してくれたと話題になっていることでしょう。

え？メモの筆跡でバレないかって？文字だけで人物を特定できるのは、恋人かそれと等しく愛情度が高い人ぐらいでしょう。若狭の母上から連絡がありましたし、若狭家との関係性はるーちゃんの反応からもりーさんと幼馴染だと思えますけど、なぜかこのバージョンだと関係性は表示されないので相手の反応見て判断するしかないんですね。

幼馴染でも好感度が高いと、一回りーさんに会ったらなにかと自分の傍に居ようしますので、こんな色々な場所でジェノサイドパーティーやってるの見たらりーさんじゃ持た

ないので接触するのはあとですね。お兄さんの存在がばれなきやがっこうぐらしも楽しく過ごせるでしょう。

生活が安定したところに向かえば、好感度が一定以上ならば、資材やら食料などを薬品で交換できますし、拠点としても使えるので便利ですよ。

るーちゃんを高校に連れて行かないのかつて？るーちゃんを雨の日に『かれら』が集まる危険な場所に置いていけるわけじゃないでしょ！連れて行くとしても雨の日がすぎたあとです。

「お兄ちゃん、おきた？」

おっと目を覚ますと寝ているお兄さんの上に乗ったるーちゃんがニコニコしながらほつぺたをぺちぺちしてきます。かわいいですねえ！

起きたことを示すためにやさしく頭を撫でると嬉しそうに笑って抱きついたあと「お姉さんがおひるつくったから起こしてって」

るーちゃんと一緒にシエルターの中に入って3人でご飯を食べます。

食べ終わった後、カバンに入れてあったカバンから取ってきたお菓子をるーちゃんに渡します。

「たべていいの？」

おう食べていいぞ！おかわりもあるぞ！

「やった！」

「よかったねえ、るーちゃん」

「うん、お姉さんもいっしょにたべよ！」

ラジオのお姉さんといっしょに嬉しそうに食べるるーちゃんを見て癒されます。

あゝ正気度があがる音お！

いやあ癒しにまさる休息はないですね。

昨日の掃除でレベルアップしたボーナスポイントをステータスと技能に振っています。

技能は薙ぎ払いを取ります。薙ぎ払いは文字通り『かれら』が固まっても抵抗なく薙ぎ払えるスキルです。

大型の刃物で薙ぎ払うとまとめて首を狩れたりします。

それと蹴り強化を取ります。蹴り強化は純粋に『かれら』を吹き飛ばす力を強化すること、物を蹴った時の威力が増すスキルです。

「車？カギならあるけど、家の駐車場にあるんだよね」

ショッピングモールに必要な物を取りに行くための物資が欲しいので家の場所を教えてください。というラジオのお姉さんが家の場所の地図と車のカギをくれます。

さて、そろそろ装備の手入れをして出かけましょう！

「お兄ちゃん、またでかけるの？」

おみやげ持って帰るからいい子で待つてるんですよ。

「おみやげはいらないからぶじで帰ってきてね！」

いい子ですねえ、頭を撫でて外に出ます。

行つてきます！

ラジオのお姉さんの家はシエルターからそこまで遠くないのでそのまま最短距離で駆け抜けます。

ついたら車の周囲を掃除して、ショッピングモールに出発します。

車の運転中に説明しときましょう

障害物等の都合上車よりもお兄さんが走っていくほうが早いですが、今回は色々なものを持ち帰る必要がある為、車を使用します。

騙し騙しつかってましたが、そろそろ登山用ピッケルさんもお亡くなりになりそうな

ので新しいのとシエルトターの入り口でキャンプする用の寝袋とテントも必要ですね。

あとは目に付いたものをそろそろ持つていきます。まだシヨツピングモールは生存者がある程度残っていて楽しく暮らしています。掃除しているのを見られるのはあれなんで静かに行きましょう。

みーくん救出のときは派手に行きますよ。

シヨツピングモールに到着です。

入り口付近にいる『かれら』に蹴りの威力を試してみます。回し蹴りを頭へ繰り出しましたが、頭だけが飛んでいきました。これは人を蹴つてはいけな威力が出てますね。気をつけましょう。

とりあえずエントランスにいる『かれら』の首を飛ばして当ててボーリング方式で処理をしていきます。

蹴り強化で大分効率があがっていいですねえ。

とりあえずアウトドアシヨツプへ行き、最新モデルの登山用ピッケル、マチェット、登山用ブーツやテントや寝袋などを回収してまずは車に詰め込みます。その後電機屋にいつて娯楽品などを

園芸用品で肥料、ついでになぜか置いてあった稲刈り用のサイズを回収し、ホームセンターで手ごろなサイズにカットしてある鉄パイプ、釘やボルトをカバンに詰められる

だけつめてある程度纏めてから車に詰め込みます。

シヨツピングセンターを出る前に罨も設置しときたいところですが、生存者がかかって死ぬ可能性があるので止めておきましょう。

いやあ沢山いいものが置いてありましたね。『かれら』がちよくちよく湧いてきて邪魔でしたがある程度の物資が集まったのでそのまま車で来た道を戻ります。

帰りにガソリンスタンドで灯油をポリタンクに詰めて持っていくます。

なんでガソリンにしないのかって？管理が難しすぎて爆発したらやばいからだよ！ガソリンの爆発は過剰すぎて『かれら』を処理するだけなら灯油でつくった火炎瓶で十分です。

車でシヨツピングセンターから帰ってくると大分日が傾いて来てますね。

シエルターに戻って、ある程度往復して荷物をシエルターの入り口に置いて、テントを設置して中に寝袋を設置して自分の活動拠点完成です!!シエルターの中で爆発物とか調査するのは危ないからね。

これは明日から楽しみにですね。

ラジオのお姉さんに、ゲーム機やら娯楽物をおみやげに渡して、色々作るので危ないため、上に上がってこないように伝え、夜まで作れる限り、炸裂パイプ爆弾、火炎瓶などをしてくれるだけ作って。頑丈なボックスに入れて保管しときましょう。

ある程度準備を終えたら、遅い夕食を摂り、高校へ仕掛けた罠のメンテナンスの為に高校へと走ります。

多少のロスになりますが道中のコンビニエンスストアに寄っていきます。初日に来たよりも大分荒らされていたものの運よくゼリー型携帯食料をゲットすることができたのでカバンに入れ高校へと向かいます。ゼリー型携帯食料は戦闘中でも使える為、戦いながら栄養を補給できる今回の目的にはぴったりの食料です。使いどころを間違えるとすぐ捨ててしまうためちゃんと敵との距離を取ってから使うのがポイントです。

高校につくともう3階は暗くなっていたので寝ているのでしよう。

設置した罠は周りに散乱した『かれら』を見るに大分頑張ってくれたのでしよう、もうそろそろ壊れそうなのでいったん技術室に部品を作製しにいきましょう。

なんで、めぐねえが一階にいるんでしょうね？



職員室で発見した緊急避難マニュアルを読んでいてもたつてもいられなくなった私は皆が寝静まつた後、地下の避難区域を確認する為、1階へ向かった。誰が設置したのかとても残酷な罠に顔をしかめながらも私は保健室の前を通り地下の入り口へ向かう。

入り口にはシャッターが下りていて、それを開けようと力を入れる。

大分重かつたがシャッターを開けて下に降りようとしたときに後ろから『かれら』に襲い掛かられた。

何とかすぐに噛まれるのは回避できたけど、一緒に倒れこんで顔を手で押さえ込んで噛まれないようにするのが精一杯だった。きつと緊急避難マニュアルの存在を今まで忘れていた私への罰なんだ。と諦めかけたそのとき急に私にのしかかっていた『かれら』の姿が消えた。

「こんな夜中に一人とか危ないですよ。こんばんは」

蹴られて壁の染みになった『かれら』と普通に夜道であったかのように挨拶をする男の姿があった。

## イベント：真夜中の学校にて

「立てますか？」

「ええ……」

とつさに差し出された手を握ってそのまま座り込んだ状態から立たせてもらう。

改めて彼の全身を見るが、武器であろうピッケルと持っている手以外血に染まっていなかった。

じつと見ているのも失礼なので、とりあえずお礼を言うことにする。

「あの……危ないところをありがとうございました。私はこの学校の教師です。その……失礼ですが、あなたは？」

真夜中にこの学校にいる人に名前を尋ねる。危険な人だったら私がどうにかしなければ。ポケットに入っているドライバーの感触を意識する。

「怪我は……ないみたいですね。初めまして、若狭 悠里の兄みたいなものです。悠里がいつもお世話になってます」

「いえ、こちらこそ、彼女はしっかりしてますからこちらの方も助かっています」

彼が若狭さんが言っていた人なのだろう。こうして私と話しながらも周囲を警戒

している。

「2階と3階にバリケードを張ってくれたのはあなたですか？若狭さんが貴方が張ってくれたと言っていたので」

「悠里がですか？それは困りましたね、私のことは気付かれてないと思ったのですが……」

「あなたが、柚村さんに残したメモの字を見て、貴方だと確信したみたいですよ」  
彼は困った表情で血に染まってないほうの手で頭を掻いている。

なぜ若狭さんに存在が知られると困るのだろうか

「すみませんが、悠里には私と会ったことは内緒にしてもらってもいいですか？」

「なぜですか？一日に何回も貴方の話を聞くぐらい貴方に会いたがっているのに」

内容も惚気話のようなもので、恵飛須沢さんも私もちよつと辟易している。

彼が居れば、彼女の話も

「だからですよ。彼女に会ったら余程のことがない限り私と離れようとしないう、私のやっていることは生徒用玄関を見た通りですし……悠里はしつかりしていますが、あまり強くないので」

「……貴方は平気なんですか？」

「あの子達はもう十分怖い目にあつた。この状況が好転するか分かりませんが、せめて

安心して過ごせる環境は与えてあげたいですからね」

平気かどうかは彼は答えなかった。

無理はしているのだろう、しかし彼を止められる言葉を私は持ち合わせていなかった。

「分かりました。若狭さんには言いません」

「ありがとうございます。では、私はこれで、その先になにがあるのかは聞きませんが、気を付けてくださいね」

さきほど蹴り飛ばした『かれら』の死体の足をもって引きずっていく彼の姿を見えなくなるまで私は彼の後ろ姿を眺めていた。

私は彼がやっているような事はできないだろう、今、私のできることをやろうと、緊急避難マニュアルを握りしめ、地下の避難区画へ向かっていく。

## 駅へ

学校から帰ってきてお兄さんは睡眠中です。

いやあ、昨日はめぐねえと予定にない接触で取り乱しましたが、顔を繋げたと思えばオツケーです。めぐねえが嘔まれるぎりぎりだったので焦りましたが、なんとか助けられてよかったです。

他の問題はなぜ、リーさんにバレたのだったことですかね。まさかメモの文字で特定されるとは、予想外でした。めぐねえの様子からリーさんの状態も大丈夫だと思いますが、予定より早めになるーちゃん（精神安定剤）と会わせるのも考えなきやいけませんね。あのイベントはめぐねえが緊急避難マニュアルを見つけていると起きるイベントの一つです。試走中、2階まで安全確保していても一度も起こらなかったイベントなのですが、なにか別の要因があるんでしょうかね？しかし、チャート自体に支障はないので、そのまま走ります。

目を覚ますと横にるーちゃんが寝ていました。

起こしにきてそのまま寝ちゃったのでしょうか、とても幸せそうに寝ているのでそのままにしておきます。

起こさないように頭を撫でてみると、寝ているのにもかかわらず頭をこちらにぐりぐりしてきて、このまま続けたくありませんが、テントの外からラジオのお姉さんが覗いていたので我慢します。

「仲がいいね。ちよつと下に来てくれない？」

服を着替えてテントを出るとお姉さんに呼ばれたので下に行きます。

「暇だからラジオから音楽流したり、なにか受信出来たりしないか試してただけだよ……」

ちよつとこれを聞いてみてくれない？」

お姉さんが録音したデータを聞くと、これは圭が助けを求める通信ですね。

助けを求めるラジオは3日目からランダムで起こるイベントですが、今回は早いですね。

お姉さんがラジオを受信してくれるのでこっちはあまり気にしていませんでしたが、結構早い段階で助けを求める放送を受信できました。今日は駅前で派手にやるつもりだったので、ついでに助けるイベントを発生させてスコアブーストも狙いましょう。

ちよつと救出へ行ってくすることを伝え、るーちゃんのお世話をお願いして出かけます。

「了解、あんた大分忙しく動いてるから、どこかで休みなよ」

お姉さんが気遣って声を掛けてくれますが、止まるわけにはいきませんので灯油の入ったポリタンクと簡易火炎瓶やパイプ爆弾などを持って駅へ出発します。

ポリタンクを持っていてるため機動力は落ちますが、大分掃除が完了しているので道中の『かれら』は躲している数であり、そのまま無視して進みます。

駅前についたら中央で放置されている車を蹴つ飛ばして盗難防止アラームを鳴らします。

駅前ぐらいから圭の救出イベントが進行しているようで、異様に『かれら』の数が多いです。アラームを鳴らした後は近くにある建物の屋根の上にバルクーで登ってしばらく様子を見ます。

駅や町から何処かのライブ会場並みに『かれら』が集まってきたら引火しやすいよう細工したポリタンクを目掛けて火炎瓶を投げます。燃え始めた『かれら』に引火して、さらに火が強くなって燃え移っていきます。臭いがひどいですが気にしないようにしましよう!!

え？倒し方が小学校と一緒にじゃないかですか？、これが一番大量に倒せるので仕方ないですね。

この方法は同行者がいるとドン引きされるので気をつけましょう。

あ、車が爆発した。汚い花火ですねえ……

若干煙で視界が悪くなっていますが、気を付けていきましょう。

駅前の炎上パーティを尻目に屋根などを伝って駅の入り口ではなく、線路から侵入します。

入り口は駅前の炎上ライブ会場へ行く『かれら』でいっぱいなのでフェンスを乗り越えて線路から駅へ入ります。

線路を伝ってプラットホームへ行き、「かれら」を掃除します。

帰りにも通るので念入りに掃除します。

プラットホームに停車している電車に乗り込んでいる『かれら』には火炎瓶をプレゼントしていきましょう。

狭い車内に『かれら』がぎゅつと詰まっていたスコアがおいしいのでおすすめです。

ライブへ乗り遅れたファンを潰しつつ、駅長室へ進みます。圭に会った時に血まみれだと

印象が悪くなるのと私が背負っていくのを嫌がるので、首を飛ばす際は返り血を浴びないように素早く倒していきます。

駅長室の周りの安全を確保した後、駅長室をノックします。

「だ……だれですか？」

ラジオ聞いて助けに来たものです！



少し時間が経った後、ドアが開ける音が聞こえ、そつと扉を開けて覗いてきますが、時間がもつたいたないので無理やりドアを開けて中に入ります。

「ヒツ……」

急に入つてこられて、ビビってますが、重要な事ではないので強引に進めます。

失礼、今から外に出ますが、走れますか？

「足を挫いてしまつて……すみません」

仕方ねえな……

圭の足首を駅長室にあつた包帯を使って応急処置を施した後、バックパックを圭に渡し背中に乗るように言いました。

行きますよ！

「はい……ヒツ」

扉を出て、廊下は『かれら』の死体が沢山と血まみれな廊下を見て悲鳴を上げていますが、今更降ろすわけにもいかなので我慢してもらいます。

駅前へ続く通路に溜まっている『かれら』に圭にパイプ爆弾を取ってもらい放り投げながら線路に出ます。

後ろで汚い火花が上がっていますが、振り向いてる余裕はないのでそのまま駆け抜けます。

道は通りませんがスコアが美味しそうだったので、つい投げてしまいました！んーいい爆発のパイプ爆弾でした。圭ちゃんナイスチョイス！

「ウツ……」

吐かないでくださいね。きついようだったら目をつむっていてください。

「……はい」

汚い花火をまともに見ちやつた子もいるみたいですが、私の上に吐かないでくれたらそれでいいです。

帰った時になるーちゃんに臭いって言われたらショックですからね！

駅前はまだライブの真つ最中みたいなので迂回してシエルターを目指します。

途中にコンビニへ寄って取れる物資を補充しておきます。

駅前に近いコンビニは『かれら』の数が多からか、あまり荒らされてないので、ついでに回収しておきます。拾ったのを背負った圭に渡せばそのままカバンに入れてくれます。

そろそろシエルターに帰りますか。女の子3人で中を使うとなると大分狭くなると思います。がしばらくの間我慢してもらいましょう。

足を怪我して駅長室にあつた無線機で助けを読んだら、しばらくしてあまり期待していなかつた救援が来た。

扉へ強引に入つて来たときは、襲われると思つたけど。謝罪もしてくれたし、足の応急処置もしてくれたのでいい人かなつて思った。

私が足を怪我しているので彼が背負つていつてくれることになつた。

扉を出るとそこには私を追つてきた『かれら』がいつぱいいたはずなのに、あたり一面血だらけで首のない『かれら』の死体が無造作に倒れているのが見えた。

恐らく助けてくれた彼がやったのだらうけど、彼には返り血がついている様子が一切ないのが逆に恐ろしかった。

しかもバックパックからパイプを出してくれと言われて渡したら爆弾で、爆弾とは思つていなかつた。

私を背負つているのにも関わらず重さを感じさせずにフェンスを駆けあがり駅を脱出する彼。

『かれら』を倒すときも、血が噴き出す位置を把握するかのよう倒し、極力血を浴びな

いように倒しているようだ。

どれだけ『かれら』を倒したらこういうことができるようになるのか、それとも元から知っていたのか。

コンビニで物資を取ったあと、彼に背負われて彼の拠点へと向かう。

救援だと言われてつい付いてきてしまったが、これから私はどうなってしまうのだろうか。

爆弾等を所持して、『かれら』を殺しても顔色一つ変えず。拠点に戻ったらなにが食べたいですか？と『かれら』を殺しながら聞いてくる彼に曖昧に返事をする。

拠点に連れていかれたら私はどうなるか不安でたまらないけど、すぐ殺されることはないと思う。

見栄を張って偉そうに語った手前、恥ずかしいけど、ごめんね美紀  
外も結構怖い所だったよ……

## 私ができることを

『サバイバル部監修 ゾンビサバイバルガイド』

彼の家に夕食を作りに行ったときに見つけた本だ。

表紙にゾンビの絵と青いつなぎを着た金髪のマスコットがサムズアップして変な絵だった。

彼がスーパーにいつている間に部屋をあさったときに机の上に置いてあったものだ。

ちなみにエッチな本はクローゼットの中に隠してあった。

この前まではなかったのが最近帰ってきたのだろうか、サバイバル部って書いてあるしサバイバル部は彼が大学で参加してるサークル名だったはず。

なぜサークルなのに部と名乗ってるのが不思議だけれど、考えてもしようがないのでページをめくる。

最終目標は生き残ること、ただ生き残ることだけであり、英雄になろうとはしてはいけない。

最初のページに書いてあった言葉を見てページをめくると

写真付きで彼やそのサークル仲間だと思われる人たちがゾンビへの対処法や近接戦

闘になった際の捌き方、頑丈なバリケードの作り方やシチュエーション別の素材の選び方等、様々なことが書いてあった。

なにより彼が写真で楽しそうにしてるのに笑みがこぼれる。

写真の中の彼は笑ってはいるが楽しんでるのが写真でもわかる。

ゾンビなんて本当にしているわけではないのに発生した時のことを想定して本気でマニユアルを作っているのだろう。

この前も宇宙人が攻めてきたらという題目で活動していると聞き、彼に大学生にもなってこんなくたらないことやって恥ずかしくないの？と聞いたら

全力でくたらないことを真面目にやるのが最高に楽しいと今までであまり見たことがない、最高に楽しくてたまらないという表情でいつてるのを見てから、くだらないと彼に言うことをやめた。

例えば、小学校のころも秘密基地を作るのだと私を連れ出しては山や橋の下に秘密基地とやらを作って遊んでいた。その秘密基地もやたら凝ったものを作ろうとしていた。完成してしばらくたつたらホームレスに占領されていたけど……

彼の感性は小学校の頃から変わってないのかもしれない。

それとも男というものは皆こういうものが好きなのだろうか。

しばらくサバイバルガイドを眺めていたが、彼がるーちちゃんとスーパーから帰ってく

る音がしたので階段を降りてレジ袋を彼から受け取り、夕食を作り台所にはいる。

台所で料理しながら、彼がるーちゃん的面倒をみて遊んでいる音や声を聴くのが、私の細やかな幸せだった。

「りーさん、聞いてたか？しつかりしろよ」

胡桃の声で我に返る。今朝は懐かしい夢を見ていて。それを思い返していたら結構ぼーっとしていたらしい。しつかりしなくては。

「ごめんなさい、すこしぼーっとしてたみたい」

「ここは安全だから大丈夫だけど、気をつけろよ。……しかしこのところ大活躍だな。バリケードとか階段に設置した返しかあれだけしつかりしてたらある程度はなんとかなるだろうし」

「ええ、この机を固定して、あとは防火扉を降ろして2重にすれば2階に『かれら』が来ることはないと思うわ」

私の言葉に笑顔を浮かべ、強めにバリケードを揺すりビクともしないのを確認してサムズアップする胡桃、初日に親しい先輩を自分で介錯をして落ち込んでいたので、心配だったのが今のところは問題はないみたい。

2階の安全が確保できたら1階も割れる窓などを塞いで完全に要塞化したいところ

だが、まだ『かれら』の行動パターンを完全に調べきれていない為、ある程度分かったら胡桃と一緒に実施しようと思う。

「それにしてもリーさん、よくバリケードの組み立て方や補強の仕方知ってるな」  
「彼がくれた本にね、書いてあったのよ」

食事の際にゾンビサバイバルガイドの話になり、気に入ったならあげるといわれそのまま貰った。内容にはあまり興味はなかったが、写真と一緒に眺めていたら自然と内容を覚えてしまったのだ。彼との話題以外に使い道がない知識がこんなところで役に立つとは思わなかった。できれば一生使いたくない知識だったけど……

「ああ、例の入り口にえげつねえ罫置いた人か。いや助かったけど、初めて見た時まじで吐きそうになった。近くまで来たんだからリーさんに顔を見せにければいいのにな」

「私に構ってられないほど、きつとやることがあるのよ。罫とか校舎の掃除とか私のことは気にかけてくれてるっばいし、今はそれでいいわ」

「そうかー、案外他のところでも同じようなことしているのかもな」

「そうね……そろそろ戻りましょうか、皆お腹空かしてるころだし、夕食をなにか作るわ。今日は野菜も使って麺もあったからラーメンでも作ろうかしら」

「よっしゃーはやく帰って飯にしようぜ！」



ラーメン、ラーメンと歌いながら歩く胡桃と一緒に生徒会室へ歩く。

めぐねえや他の皆には話していないが、るーちゃんが心配になる。あの日は彼がるーちゃんを迎えにいくと遠くの場所に出張中の母がメールで送ってきていたので無事なはずだ。

自分や皆で作った本には英雄になろうとはしてはいけない。と書いてあったのに学校でやったことは、この状況だと英雄に近い行動だ。

元々運動神経がいいのに加えて、大学でサバイバル部というサークルでゾンビサバイバルや災害発生など様々なシチュエーションを想定して全力で活動、訓練する変なサークルに入ったせいで下手なアスリートより身体能力が高いと思う。よほどのことがない限り大丈夫だと思うが、やっぱり無事な姿を見ない限り、心配なのだ。

「りーさん、どうかしたか？」

「なんでもないわ」

難しい顔をしていた私に気付いた胡桃に返事を返し、私は生徒会室へと歩く。

彼がまたここに寄った時に完璧に拠点として仕上げたら、彼は褒めてくれるだろうか、初日は不安やストレスで取り乱してしまっただが、私は私が今できることを一つずつやっていこうと思う。

彼とるーちゃんが無事でありますように。